

様式 2

先進地（現地）調査報告書

令和 2 年 3 月 3 日

玉名市議会

議 長 中尾 嘉男 様

氏 名 松本 憲二



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調 査 議 員	内田 靖信議員 一瀬 重隆議員 松本 憲二議員
日 時	令和元年 10 月 7 日（月）～令和元年 10 月 8 日（火） 午前 ・午後 7 時 00 分 ～ 午前・ 午後 18 時 11 分
場 所	岐阜県恵那市 岐阜県多治見市
調 査 事 項	「花咲か里山プロジェクト」の取り組みについて 立地適正化計画について
調査先面会者	別紙に添付
概要及び所見	恵那市 「花咲か里山プロジェクト」の取り組みについて 高校生とエゴマを植えた花咲か里山プロジェクトについて エゴマを身近に農高生らがレシピ考案へ 多治見市 立地適正化計画について 計画を立てるにあたって苦労した点について 都市機能誘導区域の設定方法について 居住誘導区域の設定方法について 計画策定後の補助金の活用について

先進地（現地）調査報告書

令和2年3月31日

玉名市議会

議長 中尾 嘉男 様

氏 名 松本 憲二



下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

日 時	平成元年10月7日（月）午後2時～午後4時
調 査 先	岐阜県恵那市
概要及び所見	地元の高校とコラボレーションにより、エゴマや蜂蜜を使用し、6次産品を開発し商品化、その活動に共感した地元企業の協力により耕作放棄地対策にも活動が広がっている。 地元の高校生や若者にチャレンジチャンスを与えて、市の活性化に取り組むのも一つの手段だと思った。
日 時	平成元年10月8日（火）午前9時30分～午前11時
調 査 先	岐阜県多治見市
概要及び所見	拠点を決定し、各拠点にどのような機能を持たせるのかにより、元々の地域、新しく整備する地域で、それぞれに生活に必要な施設を誘導し、市民にとって安全で安心して生活できる環境づくりにより、人口減少にも歯止めがかかるのではないかと感じた。



恵那市議会議員

つげ たかひこ
柘植 孝彦

〒509-8232 岐阜県恵那市
TEL 0573-22-
FAX 050-3730-



恵那市公式キャラクター
『エーナ』



恵那市役所

農林部 農政課
農業振興係 係長

〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
TEL: 0573-26-2111(代) 内線368 FAX: 0573-25-8933
E-mail:
URL:



岐阜県恵那市



議会事務局長

509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目 1-1
Tel0573-26-2111(代) Fax0573-25-8209
E-mail:



岐阜県恵那市議会
副議長

町野道明

議会事務局 〒509-7292
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
TEL (0573) 26-2111(代)
FAX (0573) 25-8209

日本100名城

天下を制す天嶽の要衝 柘植孝彦

『もうかる農業プロジェクト』

もうかる農業プロジェクト

Primary Goal

恵那市の基幹産業である農業を再生し、産業として確立する強い農業を目指す



目標1 所得の向上
農業作物の生産性の向上及び農産物価格の向上に向けた取り組み
・所得向上による生活安定の向上
・農業従事者の生活向上
・地域活性化の向上

目標2 耕作放棄地の改善
市内各地域の特性に合わせた農産物生産
・耕作放棄地による農産物の生産
・耕作放棄地の解消

目標3 地域活性化
地元産物を生産するだけでなく、農産物のブランド化や農産物加工等によって付加価値を付け、販売・流通の促進（6次産業化）
・地元産物の生産
・農産物のブランド化
・農産物加工等による付加価値の向上

目標4 地域消滅の防止
・人口減少の防止
・高齢化の防止
・若年層の定住

『もうかる農業プロジェクト 目標2 『耕作放棄地の改善』』

それぞれの想いから生まれたプロジェクト

☆花咲か里山プロジェクトの誕生！

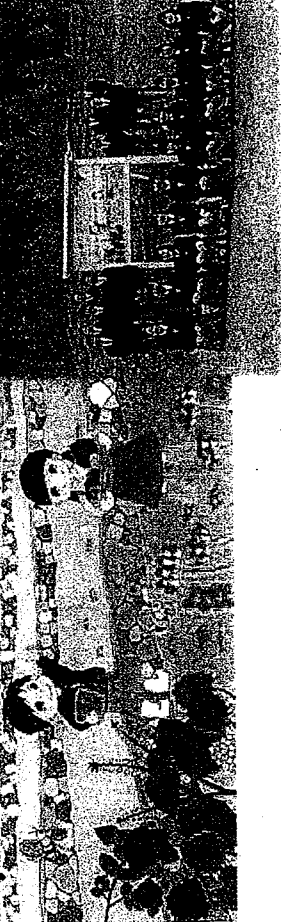
恵那農業高校が抱えていた想い ○里山の自然環境調査を行う中で、特に耕作放棄地ではセイタカアワダチソウ等の外来植物が占有しており、生物の多様性が失われていることを確認。 →耕作放棄地を資源に転換して養蜂を行うことで在来植物の受粉を促進し、里山植生の多様性確保と環境改善ができるのではないか？という検討をしていた。	田口建設が抱えていた想い ○増加する耕作放棄地等、地域農業の展望について不安を抱き、水稲以外での地域農業の確立を検討する中でエゴマを試験的に休耕田で栽培したが、収量が少なかったことから、農業高校で土壌診断を行ったところ土壌バランスが悪いことが判明。 →相談を進める中で、農業高校が研究している養蜂とエゴマ栽培について共同取り組みができるかと判断し、久須見地区に耕作放棄地対策として取り組みたいと考えていた。	恵那市が抱えていた想い ○耕作条件の悪い中山間地域に位置し、1農家あたりの生産規模、農業所得も少なく、農業従事者の高齢化や後継者及び担い手の不足により、市内全農地の15%にあたる525ヘクタールが有効活用されることがなく耕作放棄地となっている。 →「はたらく」「たべる」「くらす」の市営政策において、恵那市の基幹産業である農業を再生し、持続可能な産業として確立する強い農業をめざすため、「もうかる農業プロジェクト」を検討
みつぱちの生態調査	里山農業の危機	農業の再生

花咲か里山プロジェクトの誕生

花咲か里山プロジェクト誕生！

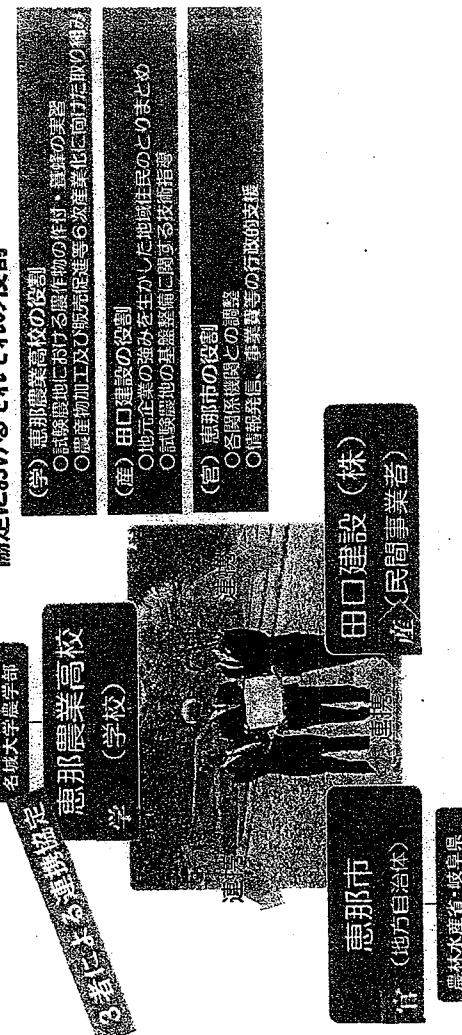
みつぱちの生態調査 × 里山農業の危機 × 農業の再生

花咲か里山プロジェクト



花咲か里山プロジェクトの概要①

協定におけるそれぞれの役割



恵那農業高校 (学校)

- 恵那農業高校の役割
- 試験農地に於ける農作物の作付・収穫の支援
- 農産物加工及び販売促進等による収益化に向けた取組の補助

田口建設 (産)

- 田口建設の役割
- 地元企業との協力を生かした地域住民のとりまとめ
- 試験農地の基礎整備に関する技術指導

恵那市の役割 (官)

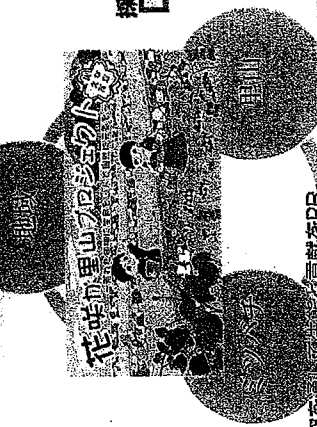
- 各関係機関との調整
- 情報発信、事業費等の行政的支援

田口建設 (株) 代表取締役 (民間事業者)

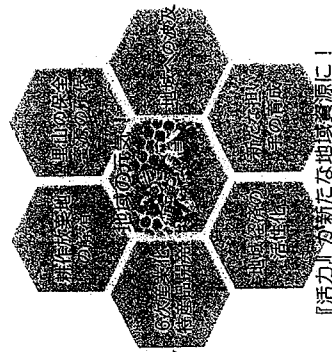
農林水産省・岐阜県

花咲か里山プロジェクトの概要②

- 農地（耕作放棄地）の提供
- 農地の管理
- 地元農業者による農地の管理・技術指導



- 研究を通じて里山と自然をPR
- 理解・関心の向上
- 保護による風除数の減少を図る
- 生産者に配慮した農業生産
- 里山環境保全活動



『活力』が新たな地域資源に！

花咲か里山プロジェクトの概要③

長島町久須見地区耕作放棄地活用事業計画平面図



取組み面積	
平成29年度	4,800m
平成30年度	2,000m
合計	6,800m

事業費（円）は補助金	
平成29年度	342千円（258千円）
平成30年度	220千円（58千円）
令和元年度	565千円（965千円）

※令和元年度は予算額
※補助事業名：中山間地農業ルネサンス推進事業

花咲か里山プロジェクトの成果①

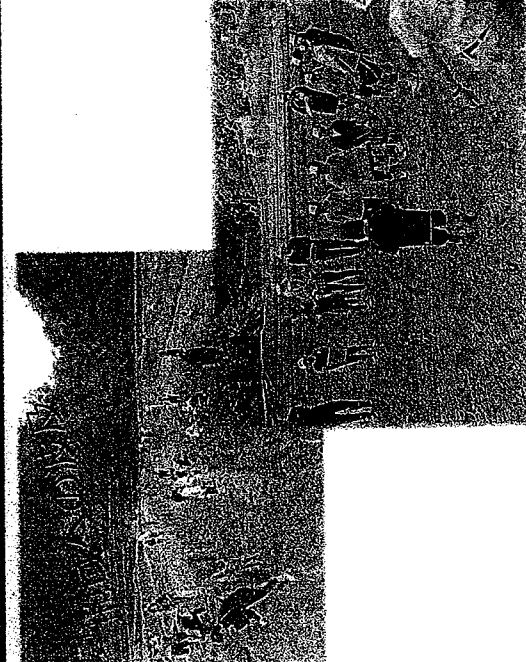
耕作放棄地の再生



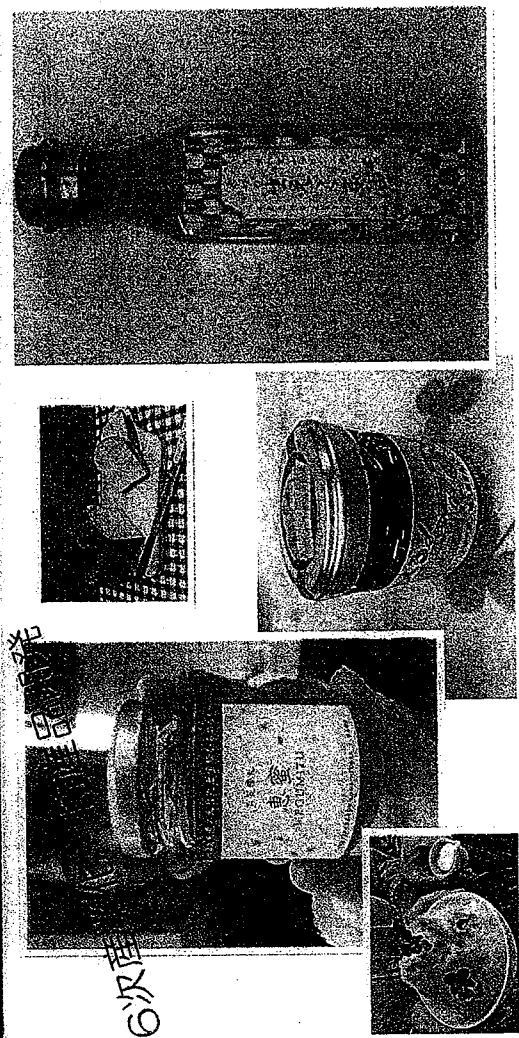
耕作放棄地解消前

耕作放棄地解消後

花咲か里山プロジェクトの成果②



花咲か里山プロジェクトの成果③



なぜエゴマ?

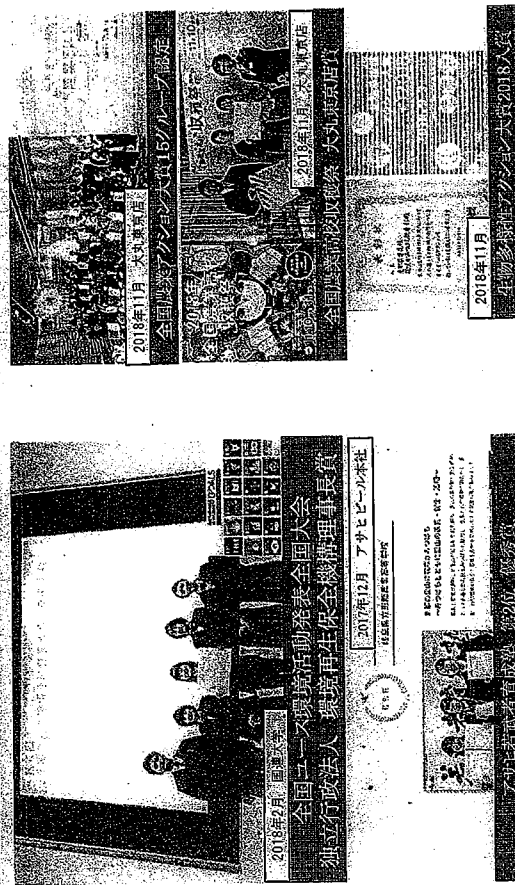
○2年間の活動により実感できたこと

○エゴマの有用性

- ・耕作放棄地からの転換が比較的容易である
- ・エゴマ自体への病害虫・食害（鳥獣害）が非常に少ない
- ・育成に対して特別な技術を要しない
- ・ミツバチの訪花植物として活用可能
- ・エゴマ油原料としての需要が高く（健康志向）、売り手市場



花咲か里山プロジェクトの成果④（外部からの評価）



今後の課題

たべるプロジェクト × もっかるプロジェクト

健康・食育

温かいおもてなし

『食』 × 『農』

味の伝承・伝統食

発見・感動



TAJIMI

多治見でお逢いしましょう。

多治見市役所
都市政策課

主査

〒507-8703

岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地

TEL 0572-22-1111 内線 1388

0572-22-1321(直通)

FAX 0572-25-6436

E-mail



多治見市議会

議会事務局長



多治見市マスコットキャラクター
うながっぼ

〒507-8703

岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地

TEL 0572-22-1111 (内線 1524)

直通 0572-22-9899

FAX 0572-25-6437

E-mail



TAJIMI

多治見でお逢いしましょう。

多治見市役所
都市計画部 都市政策課

総括主査

〒507-8703

岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地

TEL 0572-22-1321 (直通)

FAX 0572-25-6436

E-mail

副議長

若

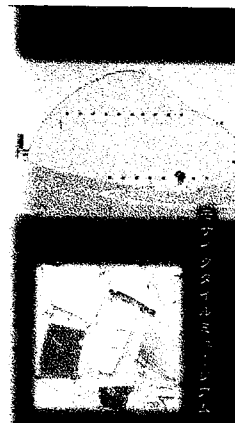
尾

敏

之

多治見市議会

〒五〇七―八七〇三
岐阜県多治見市日ノ出町二丁目十五番地
電話(〇五七二)二二一一―二二一六(代)
FAX(〇五七二)二五一一―六四三七



TAJIMI

陶磁器文化の拠点。



多治見市役所
都市計画部 都市政策課長

〒507-8703

岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地

TEL 0572-22-1111 (内線 1390)

FAX 0572-25-6436

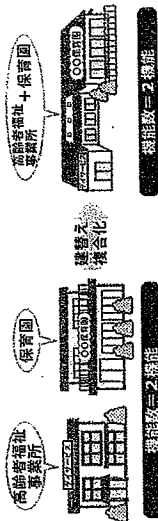
E-mail

③誘導施設 (機能)

【誘導施設 (機能) とは?】

- 都市機能誘導区域ごとに設定する立地を誘導する施設(機能)
(医療施設、商業施設など)

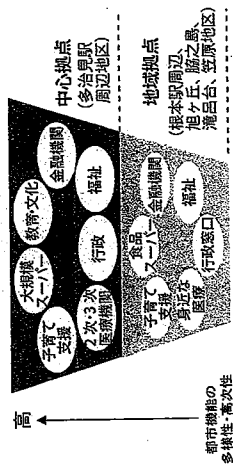
※誘導施設 (機能) の数え方



③誘導施設 (機能)

【誘導施設 (機能) 設定の基本方針】

- 中心拠点 = 高次で多様な生活サービス施設(機能)を維持・誘導
- 地域拠点 = 日常生活に密着した生活サービス施設(機能)を維持・誘導



②計画策定後の国の補助金の活用状況

1. 市街地再開発事業 (R4完成予定)
 - 都市機能誘導区域内
 - 補助率1/3



※その他の補助金活用については、今後検討が必要な施策として活用を検討中。

例: 都市機能立地支援事業
都市再構築戦略事業 等

先進地（現地）調査報告書

令和 2 年 3 月 3 / 日

玉名市議会

議 長 中尾 嘉男 様

氏 名 松本 憲二 ⑩

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調 査 議 員	内田 靖信議員 一瀬 重隆議員 松本 憲二議員
日 時	令和 2 年 2 月 4 日（火）～令和 2 年 2 月 6 日（木） 午前 ・午後 8 時 20 分 ～ 午前・ 午後 17 時 39 分
場 所	石川県金沢市 福井県敦賀市
調 査 事 項	私がつくる街 Share（シェア）金沢について 学力向上の取り組みについて
調査先面会者	別紙に添付
概要及び所見	金沢市 私がつくる街 Share（シェア）金沢について 人が直につながり、支え合い、共に暮らす街づくり 天然温泉・レストランなどが揃い地域コミュニティをはぐくむ街 福祉を軸に地域連携型コミュニティ街づくり推進 敦賀市 学力向上の取り組みについて 未来を担う敦賀の子供を家庭・学校・地域の手で 「知」勉強して考える力 「徳」内面を豊かにする力 「体」たくましく生きる力 一人と協働する力ー

先進地（現地）調査報告書

令和2年3月31日

玉名市議会

議長 中尾 嘉男 様

氏 名 松本 憲二 

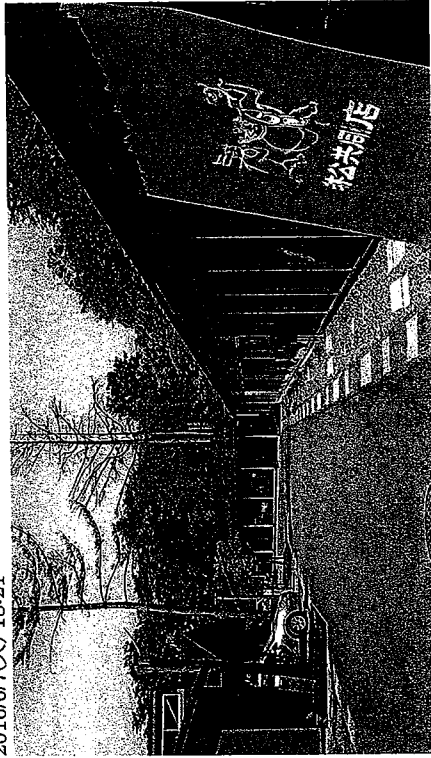
下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

日 時	平成2年2月5日（水）午前11時10分～午後3時50分
調 査 先	石川県金沢市
概要及び所見	福祉施設内に、人が集まりやすい場所をつくることで、地域の方々にも福祉を理解して、関わってもらう取り組みや、また学生向けアパートも施設内に建設し、様々な年代の方々と共存共栄しながら、施設運営をされていることに感銘を受けました。
日 時	平成2年2月6日（木）午前9時～午前10時30分
調 査 先	福井県敦賀市
概要及び所見	入学前、小学低学年・高学年、中学生用と市独自のガイドをつくり、さまざまな資料作成、提供により子ども達に興味を持たせて、主体的に取り組まれている。 幼児教育、小学校、中学校の連携もしっかりとっており、子ども達の弱点克服への取り組みが、素晴らしいと感じた。

「シェア金沢」に学ぶ生涯活躍まちづくりのヒント

斎藤徹 | 電通シニアプロジェクト代表、国際長寿センター客員研究員

2016/6/7(火) 18:21



シェア金沢

日本版 CCRC で注目される「シェア金沢」（石川県金沢市）が高齢者の地方移住コミュニティモデルとして全国の自治体からも視察が相注いでいます。地方創生の先駆的事例として全国の自治体からも視察が相次いでおり、増田寛也氏編著『東京消滅—介護破壊と地方移住』（中公新書）でも「生涯活躍のまち（CCRC）」として紹介されました。

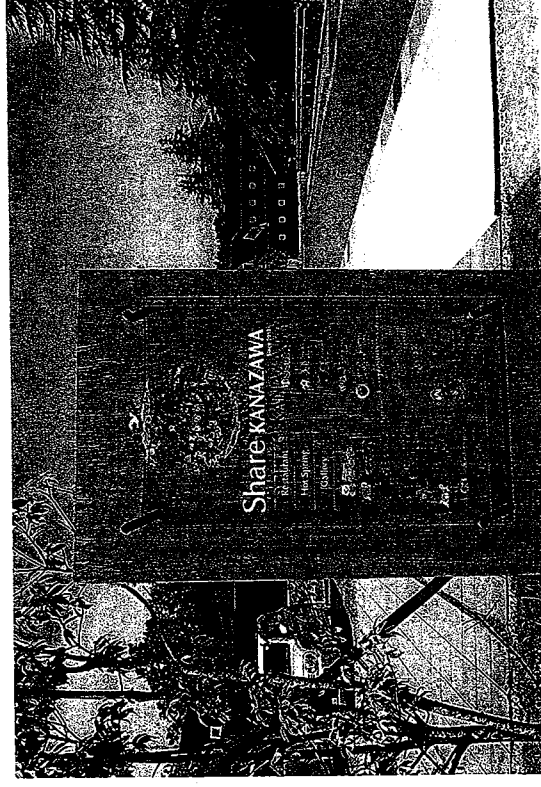
CCRC（Continuing Care Retirement Community）とは、高齢者が健康なうちから入居し、その後介護や医療が必要になっても快適に過ごすことが出来る高齢者向けコミュニティ施設の事を指しますが、その起源は1970年代米国まで遡ることが出来ます。米国では、気候の温かいアリゾナやカリフォルニア、フロリダなどに移住し、そこで悠々自適のリタイア・ライフを過ごしたいと望む人々が多数存在しています。彼らのニーズに沿って生まれたのが CCRC でした。アリゾナ州のサン・シティは約3万人の人々が居住し、“コミュニティ”というより、もはや“都市”のレベルにあります。

その日本版モデルがシェア金沢というわけですが、実際は規模から見ても、運営実態から見ても米国の CCRC と日本版 CCRC のシェア金沢は全く別物と考えられて良いでしょう。そもそもシェア金沢は、高齢者移住のために構想された施設ではありませんでした。

シェア金沢施設長の奥村俊哉さんによると、シェア金沢は、「高齢者移住の施設

として構想されたものではなく、障害を持つ人々が多くの人々と交流し、就労できることを目的に開発されたコミュニティ」でした。

シェア金沢の中心はあくまで障害者の人々であり、彼らを中心にしながら、多様な世代、年齢の人が繋がっていくために構想・開発されたコミュニティなのです。高齢者移住の視点で注目されているシェア金沢ですが、実は元々は異なる発想に基づいたものであったのです。



シェア金沢の入口付近

子供、学生、成人、高齢者、障害者が集う「ごちやまぜの街」シェア金沢は、金沢駅から約6km 南東の小高い丘陵を上った住宅地のはずれに位置しています。国立病院機構金沢若松病院の跡地の約1万1千坪に建てられ、敷地内には、障害児が生活する児童入所施設、サービス付き高齢者向け住宅、学面向け住宅（アトリエ付き）などの住居施設に加え、高齢者デイサービス・生活介護施設、訪問介護施設、児童発達支援センターなどの福祉関連施設、敷地の外の人々にも利用できる天然温泉、ギャラリー、レストラン、売店、ドッグランなどの商業・サービス施設などが分散して配置されています。

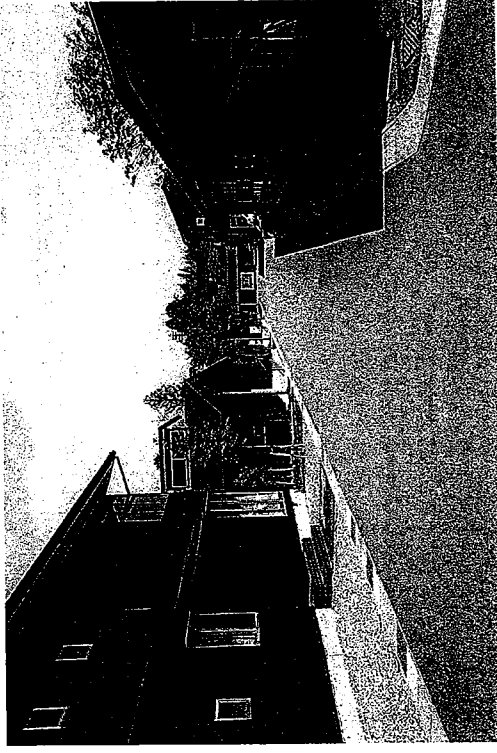
それぞれの施設は別棟仕様となっており、ある施設から別の施設に向かう場合には、敷地内にある道路もしくは棟間の小道を通っていくことになります。道幅は意図的に狭く設計されており、すれ違う際には自然とあいさつが生まれる仕組みになっています。

シェア金沢のコンセプトは「ごちゃまぜの街」です。これら分散配置された施設内外の住民たちが多様に交流する機会と場を設けることで、コミュニケーション機会を意図的に生み出そうとしているところが、シェア金沢の最も特徴的な点です。

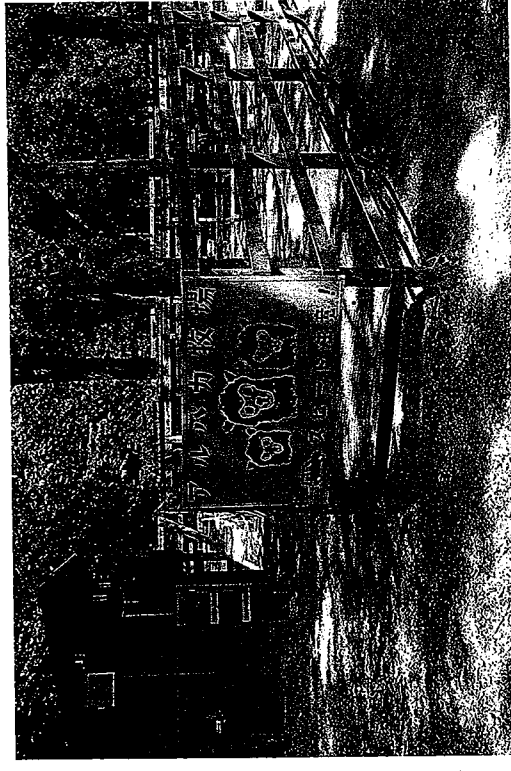
コミュニティ内にある商業・サービス施設は、障害を持つ人たちが就労の場でもあり、元気な高齢者の人たちのボランティアの場にもなっています。天然温泉やクリーニング店、レストラン、配食サービス、アルパカ牧場は、障害者の通い就業の場（就労継続支援事業）となっています。これら施設は一般の人々も気軽に利用できるものであり、結果として障害者の人々との交流の機会を生み出して利用しています。学生向け住宅に住む大学生たちは、安価な家賃で入居できることを引き換えて、シェア金沢内で月30時間ボランティア活動を行うことが条件になっています。施設内に住む高齢者の人々（32戸）も同様です。元気なうちはシェア金沢内にあるさまざまな施設でボランティアとして活躍していただき、身体が弱くなればデイサービスや訪問介護のサービスを受けることが出来ます。

シェア金沢の各施設内やスペースは近隣の保育園児、小學校生徒にも開放されています。筆者が訪問した折にも、近所の保育園児たちが施設内スペースで楽しそうに遊ぶ姿が見受けられました。小學校のランニング大会でもシェア金沢がスタート地点になっているそうです。

このように、子供、大人、高齢者、障害者の人たちが多様に暮らし、交流できるための場を創出していること、これがシェア金沢の実現している最も素晴らしい、学ばべき価値であると言えるでしょう。



シェア金沢内風景



アルパカ牧場

生涯活躍のまちを実現するために

6月6日、政府は「生涯活躍のまち」実現に向け、協力して検討を進める自治体

敦賀市教育委員会

教育長

〒九一四一八五〇一
福井県敦賀市中央町二丁目一番一
TEL (0770) 22-1111 (代) 号

敦賀市議会

議長 和 泉 明

〒九四八五〇二 福井県敦賀市中央町二丁目一番二
TEL (0770) 22-1111 号
FAX (0770) 22-1900
自 宅 福井県敦賀市二町二丁目七番二四号
〒九四〇〇五八 TEL (0770) 25-1816 九



敦賀市教育委員会学校教育課

指導主事



敦賀市公認キャラクター
ツヌガ君

〒914-8501
福井県敦賀市中央町2丁目1番1号
TEL (0770) 22-8162
FAX (0770) 23-6944
E-mail: [redacted]

5 敦賀市「知・徳・体」充実プラン

果 勉強して考える力

おいちの収穫

幼児期の終わりまでに
思考力の芽生え
数量・図形・文字等への関心・感覚
自然との関わり

福井県では、
週1時間、外国語の授業

紙テープを使っ
て考えると、ど
ちらがどれだけ
長いかわくわ
かるな。

は赤いリボン
の方が良いと
うよ。



真体物を使った経験を通して、自分の考えを明らかにし、自分の理解を深めます。
さらに振り返りを通して理解を深めます。

口問投来

「小中一貫カリキュラム」をはじめ、小学校入学から中学校卒業まで切れ目のない三貫教育を実施しています。

平成28年度 小田一路カリキュラム

みんなで見解を伝え合い、より良い解法を
考えます。

A zabuton is a Japanese cushion. It is used when you sit on tatami mats.

※「協同」…共通の目的を意識して協力すること。以上、いかを差しながらチームとして成果をあげられるようにしていくこと

※「協同」…共通の目的を意識して協力すること

